

第5学年 外国語科 学習構想案

日時 令和元年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時
 場所 〇年〇組教室
 指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 単元構想

単元名	「What do you have on Monday?」 (発行者名「教科書名」 p.〇〇~〇〇)		
単元の目標	(1)教科や時間割について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。[知識及び技能] (2)相手に自分のことをよく知ってもらうために、相手に伝わる工夫をしながら時間割や学びたい教科について伝え合うことができる。[思考力、判断力、表現力等] (3)相手に伝わる工夫をしながら、時間割や学びたい教科について伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「聞くこと」(イ) 【知識】 教科の言い方や、What subjects do you like? What do you have on ~?, その答え方について理解している。 【技能】 好きな教科や時間割など、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	「聞くこと」(イ) 相手のことをよく知るために、時間割や学びたい教科などについて、具体的な情報を聞き取っている。	「聞くこと」(イ) 相手のことをよく知るために、時間割や学びたい教科などについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
	「話すこと〔やり取り〕」(イ) 【知識】 教科の言い方や、What subjects do you like? What do you have on ~?, その答え方について理解している。 【技能】 好きな教科や時間割などについて、What subjects do you like? What do you have on ~? 等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合うために必要な技能を身に付けている。	「話すこと〔やり取り〕」(イ) 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分の考えたオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合っている。	「話すこと〔やり取り〕」(イ) 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分の考えたオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合おうとしている。
「読むこと」 ※本単元における「読むこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。			
単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
相手のことを知るために、時間割や好きな教科などについて、必要な語句や表現を使って、伝える相手に応じて工夫をしながら伝え合っている児童			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
お互いのことをよく知るために、将来の夢に近づくためのオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合おう。		相手の好きなことや得意なことなどを踏まえて、伝えたり尋ねたりする内容や表現を工夫すること。	
指導計画と評価計画 (7時間取扱い 本時7/7)			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	○単元のゴールを確認する。 ○世界の学校生活の様子を知り、自分たちとの共通点や相違点について考える。 ○教科や曜日の言い方について知り、言ったり聞いたりする。	「聞くこと」(イ) 【知】 (ワークシート, 行動観察)
二	2	○時間割や曜日について尋ねたり答えたりする言い方を知り、好きな曜日や教科を伝え合う。 ○活字体の小文字を識別して読み、アルファベットの音読みや慣れ親しんだ簡単な単語を読む。	「話すこと(やり取り)」(イ) 【知】 (行動観察) 「聞くこと」(イ) ★【知】 (行動観察, ワークシート) 好きな教科や時間割などについて、具体的な情報を聞き取っている。

三	2	<p>○先生たちが考えたオリジナルの時間割について聞き取る。</p> <p>○好きな教科やその理由を伝え合い、グループごとに、将来の夢に近づくためのオリジナルの時間割を作成する。</p> <p>○学びたい教科について、オリジナル時間割表に書き写す。</p>	<p>「聞くこと」(イ)</p> <p>★【思】(行動観察, 振り返りカード) 先生たちのことをよく知るために、先生たちが学びたい教科やその理由について、必要な情報を聞き取っている。</p> <p>★【態】(行動観察, 振り返りカード) 先生たちのことをよく知るために、先生たちが学びたい教科やその理由について、必要な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>「話すこと(やり取り)」(イ)</p> <p>★【知】(行動観察, 振り返りカード, 動画記録) 好きな教科や時間割などについて自分の考えや気持ちを伝え合っている。</p>
四	2 2/2 本時	<p>○伝える相手に配慮しながら、オリジナルの時間割やそれについての自分の考えを伝え合う。</p> <p>○単元を通して学習したことや自己の学びの変容を振り返る。</p>	<p>「話すこと(やり取り)」(イ)</p> <p>★【思】(行動観察, 振り返りカード, 動画記録) 自分のことをよく知ってもらったり友達のことをよく知ったりするために、学びたいスペシャル科目などについて伝え合っている。</p> <p>★【態】(行動観察, 振り返りカード, 動画記録) 自分のことをよく知ってもらったり友達のことをよく知ったりするために、学びたいスペシャル科目などについて伝え合おうとしている。</p>

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)	
<p>小学校学習指導要領 2内容</p> <p>[知識及び技能]</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>[思考力, 判断力, 表現力等]</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し, 英語で表現したり, 伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>ア 身近で簡単な事柄について, 伝えようとする内容を整理した上で, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>ア 聞くこと</p> <p>(ウ) 友達や家族, 学校生活など, 身近で簡単な事柄について, 簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を, イラストや写真などを参考にしながら聞いて, 必要な情報を得る活動。</p> <p>ウ 話すこと [やり取り]</p> <p>(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 自分の考えや気持ちなどを伝えたり, 簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。</p>	
教材・題材の価値	
<p>本単元では, 世界の子供たちがどのような学校生活を送っているのか, どのような科目を学習しているのかなどを知るのに適している。また, 児童が現在学習していることやこれまで経験したことが将来の自分に役立つことを感じるとともに, 「オリジナル時間割」を作成し, 自分の考えを含めて伝え合うことで, 伝えたい, 聞きたい思いが高まることが期待できる。</p>	
本単元における系統	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>5年 When is your birthday? 誕生日や好きなもの, 欲しいものを伝え合う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>4年 I like Mondays. 曜日の言い方を知り, 好きな曜日を尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>5年 What do you have on Monday? 時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合う。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin-top: 10px;"> <p>6年 Junior High School Life. 中学校の部活動や学校行事などについて伝え合う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin-top: 10px;"> <p>5年 What time do you get up? 一日の生活について伝え合う。</p> </div>	

児童の実態

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況

調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
曜日や教科名を英語で言うことができる。	—	—	—	—
好きなもの（こと）について尋ねたり答えたりできる。	—	—	—	—
活字体の小文字の名称読みができる。	—	—	—	—

■本単元の学習に関する意識の状況

調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
相手の話に反応を返しながら会話を続けようとしている。	—	—	—	—
知っている英語の表現をできるだけ使おうとしている。	—	—	—	—
身近な英単語について絵を参考にしながら読もうとしている。	—	—	—	—

■考察

（資質・能力に関して）曜日や時間割については、多くの児童が聞いたり話したりすることができる。また、表記されたアルファベットのの一部を読み取り、何曜日なのか判断することができる児童は全体の半数程度である。

（学びに関して）英語で話したり、既習事項を使って会話を続けようとしたりする態度が育ってきているが、自信のなさから会話を継続できない児童も数名見受けられる。発話までの活動を児童の定着状況を見ながら丁寧に行うことや、言語活動において、会話を継続するために必要な定型表現を活用することなどが必要である。

3 指導に当たっての留意点

- 単元を通した学習課題を「お互いのことをよく知るために、将来の夢に近づくためのオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合おう。」と設定し、単元のゴールを児童と共有することで、学習への意欲を高めるとともに、活動の見通しを持たせる。
- 単元終末の言語活動に向けて、2回に1回程度スモールトークを設定し、既習事項について想起する活動を行う。
- 言語活動では相手を替えて何度もやり取りをさせることで、伝える内容や英語表現について児童自身が思考する場面を設定する。また、中間指導を適宜行い、既習表現や会話を継続するために必要な定型表現の定着を図る。
- 単元終末のまとめでは、単元を通して自己の学びの変容を振り返る時間を設定し、できるようになったことやできなかったことを自覚させ、次の単元への意欲を高める。

4 本時の学習

(1) 目標

お互いのことをよく知るために、将来の夢に近づくためのスペシャル科目やそれについての自分の考えなどを伝え合うことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 ・Chant & Review 教科・曜日 ・Small Talk ◇先生は「英語」が好きなんだ。理由は○○なんだ。私の好きな教科は…。理由はどう言ったら伝わるかな？	○映像やリズムに合わせてテンポよく発話するよう促す。 ○「大好きな教科」についての教師の話聞き、既習表現や対話を続けるための基本的表現等を想起できるようにする。
		2 教師のデモンストレーションを見る。 ◇友達はどうな夢があるのかな？ ◇どんな時間割を作ったのかな？	○デモンストレーションを見ることで、本時のめあて及び活動を確認できるようにする。 ○グループごとに、「将棋」「釣り」などスペシャル科目を一人1つずつ加えて作成したオリジナル時間割を見合い、ペアでやり取りを確認する。
【めあて】 自分の考えたスペシャル科目などについて伝え合い、お互いのことをよく知ろう！			

展 開	30 分	<p>3 Activity 1 ペアで伝え合う。</p> <p>◇「どんな教科を勉強しますか？」は英語で何と言えばよかったかな？</p> <p>※全体で活動を振り返り、課題を解決する。</p> <p>◇「気に入りました」は英語で I like it. と言え ばいいんだ。今度、感想を伝えるときに使っ てみよう。</p> <p>4 Activity 2 目的に応じてペアを替えながら伝え合 う。</p> <p>◇「将棋」の授業を入れた〇〇さんと話してみよ う。</p> <p>◇〇〇さんが消防士になりたいことを初めて知 ったな。</p> <p>◇感想が伝えられなかったな。次の人には感想を 伝えるぞ。</p>	<p>○オリジナル時間割の理由を伝えるために、絵や具体物などの活用を促す。</p> <p>○3の活動で分からなかった英語表現などを共有し、全体で考えたりALTに尋ねたりしながら解決することで、次の活動への意欲を高める。</p> <p>○一方的な説明で終わらず、話す内容について相手に問いかけたり、質問に答えたりしながら会話を継続することを意識するように促す。</p> <p>○伝える内容や英語表現を工夫しながら活動するように伝え、ペアでのやり取りを複数回体験できるようにする。</p>
		<p>【期待される学びの姿】</p> <p>相手に応じて、自分が考えたスペシャル科目などについて説明したり、これまで学習した表現を使って、質問したり答えたりしようとしている。</p>	<p>【具体的評価規準】</p> <p>「話すこと（やり取り）」(ウ) 思</p> <p>○自分のことをよく知ってもらったり友達のことをよく知ったりするために、学びたいスペシャル科目などについて伝え合っている。 (行動観察、振り返りカード)</p> <p>「話すこと（やり取り）」(ウ) 態</p> <p>○自分のことをよく知ってもらったり友達のことをよく知ったりするために、学びたいスペシャル科目などについて伝え合おうとしている。 (行動観察、振り返りカード)</p> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <p>○モデルを示したり、キーワードを補足したりして活動を支援する。</p>
終末	5 分	<p>5 学習のまとめ、振り返りを行う。</p> <p>【まとめと振り返り】</p> <p>◇たくさんの友達と話せてよかった。</p> <p>◇〇〇さんのスペシャル科目を聞いて、よく考えてるなと思った。</p> <p>◇だんだん自分から質問したりできるようになってよかった。</p>	<p>○英語でやり取りをしたことでの気付きや、自分の学びを振り返っての感想などを振り返りカードに記入し、発表し合うことで学びを共有する。</p> <p>○指導者から、活動に対する気付きを述べる。</p>

【板書計画】

<p>単元のゴール：お互いのことをよく知るために、将来の夢に近づくためのオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合おう！</p>			June	Monday	sunny	
<p>Today's Goal</p> <p>自分の考えたスペシャル科目などについて伝え合い、お互いのことをよく知ろう！</p>			<p>What do you have _____ on Friday? I have <u>English, ... and _____.</u></p>			
<p>活動の流れ</p> <p>①Small Talk</p> <p>②めあての確認</p> <p>③活動1</p> <p>④活動2</p> <p>⑤まとめと振り返り</p>	<p>先生のオリジナル時間割</p>		music	English	math	science
			P.E.	Japanese	social studies	homeroom